

在 宅 で

生 き る

vol. 7

1月号



2015.1.1.Thu
練馬区 健康福祉事業本部
地域医療担当部地域医療課
医療連携担当係
TEL:03-5984-4673

特集 (仮称) 「区政運営の新しいビジョン」 (素案)

◆ 年頭のごあいさつ 練馬区長 前川 燿男

あけましておめでとうございます。

区民の皆さまならびに医療・介護の関係者の皆さまには、すがすがしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私は、区長就任以来、精力的に主要な課題の説明を受け、その現場を自分の目で確かめてきました。また、新たに「練馬の未来を語る会」を開催し、介護現場で働く専門職の方とも意見交換を行いました。

その上で、区政運営の羅針盤となる新しいビジョンの策定を進めています。リアルな行政需要の把握をもとに、区の将来を見据えた施策の方向性を明らかにし、その根幹となるプロジェクトを18の戦略計画として位置付けてまいります。

昨年12月に、区民の皆さまとともに考え、議論するための素案を公表しました。活発なご意見をお待ちしています。

医療・高齢者施策においては、「高齢者地域包括ケアシステムの確立」と「病床の確保と在宅療養ネットワークの構築」の二つを戦略計画として取り上げました。

モデルなき超高齢社会の到来を控え、区民の皆さまが住み慣れた地域で暮らし続けることのできる仕組みを構築するため、従来の発想にとらわれず新しい工夫をこらし、地域の個性を活かした取組みを進めてまいります。

医療・介護の関係者の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



～裏面で関連する戦略計画のあらましをご紹介します～

◆ 高齢者地域包括ケアシステムの確立をめざして

1 一人ひとりに合った医療・介護等の連携を支援

- (1) 練馬・光が丘・石神井・大泉の各高齢者相談センターに「医療と介護の相談窓口」を開設し、医療・介護連携推進員を配置します。推進員は、医療・介護の施設や事業所を把握し、その人に合った「医療・介護連携チーム」の編成を支援します。
- (2) 病院や診療所、介護施設などの地域資源をいかし、医師会等との連携による在宅療養のネットワークを構築します。

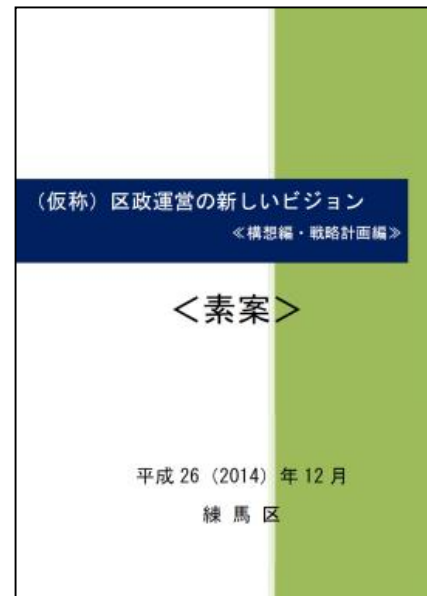
2 「街かどケアカフェ」の設置

医療・介護・健康の相談と高齢者等地域住民の交流の場となる「街かどケアカフェ」を設置します(当面4か所程度)。

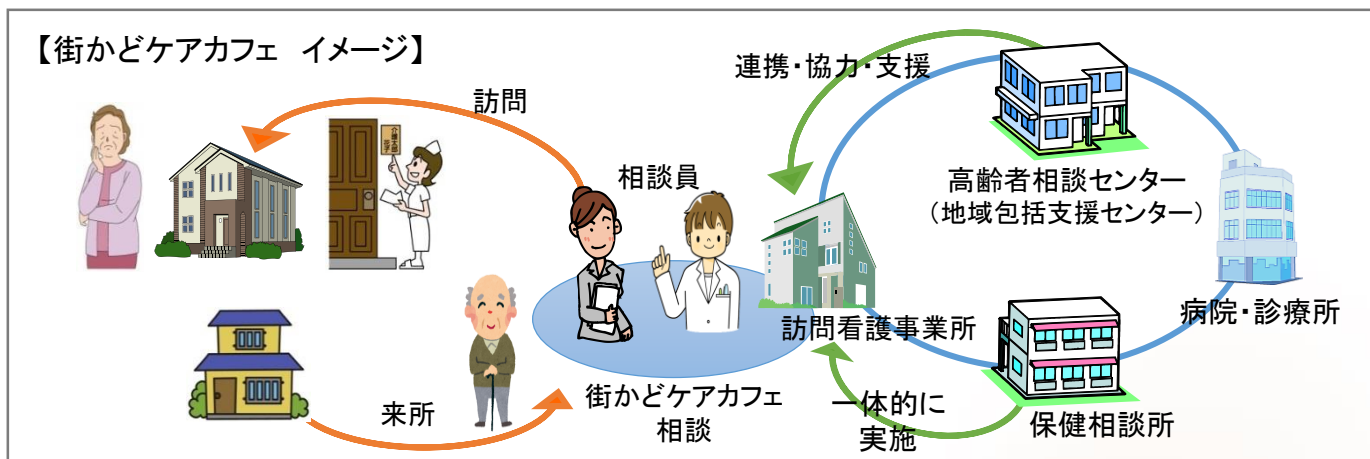
【「街かどケアカフェ」で実施するサービス・事業】

- (1) 介護予防や栄養、口腔ケアなどの相談
- (2) 閉じこもりがちな高齢者の自宅への訪問、見守りなど日常生活の支援
- (3) ロコモ体操(※)などの健康づくり事業

※ 筋力低下や転倒による要支援・要介護状態にならないよう、身体機能向上を目的として行う、主にバランスや筋力アップを図る運動



【街かどケアカフェ イメージ】



3 在宅生活を支援するサービス等を拡充

- (1) 住み慣れた在宅生活の継続を希望する方に、①緊急通報、②生活相談、③配食を組み合わせ利用できるサービスを新設します。
- (2) NPOや高齢者のボランティアなど多様な担い手が、きめ細かな生活サービスを提供できる体制を整え、介護予防や自立した生活を支援します。